# 2013年度経営者「環境力」大賞

## きょう顕彰式と発表会

### 環境と経営の持続可能な一体化を目指して

認定NPO法人環境文明21（東京都大田区、加藤三郎共同代表、03・5483・8455）と日刊工業新聞社は、きょう13時半から東京都渋谷区のアイビーホールで、2013年度経営者「環境力」大賞の顕彰式と発表会を行う。同賞は環境と経営の持続可能な一体化を目指して顕彰するもので、2008年度から開催して、今回が6回目。西武信用金庫、損保ジャパン環境財団、カネパッケージ、住友生命保険が協賛し、今回は大賞として6人が受賞した。

昨年夏はこれまで経験したことのない長期間の猛暑や豪雨、竜巻の発生が続くなど、地球温暖化に伴う気候変動の諸現象が顕在化した。一方で、11年3月11日に発生した東日本大震災からの復興や原発事故への対応も十分とは言えない状況の中、改めて「安心・安全で心豊かに暮らせる持続可能な社会」への転換と、それに寄与する新たな社会経済活動、ビジネスモデルへの転換が強く求められている。

そこで環境文明21は、日本経済の根底を支える中堅・中小企業が、社会と共生しながら持続可能な経営を行い、日本の経済再生に今こそ、その経験や実績を発揮する好機であると判断。それには、全ての企業関係者が経済と環境の一体化を目指して努力すること。とりわけ経営者の役割と責任が決定的に重要であるとして、「環境力」にあふれる中堅・中小企業経営者を全国から発掘し、経営に対する思いや考え方、事業活動を多くの関係者に知ってもらい、そのネットワークを広げることが重要だと考えて、経営者「環境力」大賞を創設した。11年度からは日刊工業新聞社も加わり、共同で運営してきた。

また顕彰にあたり環境文明21は、21世紀をリードする経営者の資質を評価する物差しとなる「12項目」を公表している。

12項目は次の通り。①情報を公開し、公正な競争に率先して取り組む②100年先を見通した企業価値を設定し、その価値を浸透させる情熱と達成する戦略性③国内外の時代の潮流を洞察し、先取りする力④他社とも協働して、社会に対する責任を果たそうとする意思⑤働くことの価値を認め、自社で働く全ての人々の働く意欲を高める⑥地域社会との交流を大切にし、その伝統や文化を尊重する意思⑦経済と環境を一体化しようとする意思⑧事業を大きくしすぎない勇気⑨科学を理解し、経営に活かす力⑩技術動向を常に把握し、経営の発展に繋げる力⑪人知の及ばない大いなるものへの畏敬の念⑫NPOを含む全てのステークホルダーとコミュニケーションをとる力―。これらの条件を満たす経営者に賞は与えられる。

13年度受賞者は6人。

はくばくの長澤利久会長は、①環境に配慮した商品づくり②使用エネルギーの合理化③資源の有効活用とロスの削減―で、それぞれ具体的な目標数字を伴う環境目標を設定した。これらを通じ、社員自らが資源の徹底利用（ムダの排除）を図るほか、環境評価を的確にとらえた製品づくりやサービス向上に取り組んでいる。

その一環で地元にあるプロサッカーチーム、ヴァンフォーレ甲府のホームゲームにリユースカップを導入しているNPO法人「スペースふう」の取り組みに賛同し、支援する。リユース食器は地球温暖化防止推進を目的に、使い捨てではなく何度でも洗って使える食器のことで、イベントでゴミを出さず、環境負荷を低減する地球に優しい活動だ。さらには有機栽培を通し、環境保全活動をサポートしながら、完全オーガニック乾麺「黄金の大地シリーズ」の売り上げの一部を地球環境基金に寄付している。

ウェルシィの福田章一取締役（前社長）は社是を「地球環境向上」とし、同社の水を通じた世界平和への貢献を目指す地下水飲料化プラント「地下水膜ろ過システム」は、この分野ではパイオニア的なシステム。災害時における給水ライフライン確保で事業継続性を高めるほか、①上水道料金の削減につながる②災害時の地域住民向け給水サービスでの貢献③適度なミネラルを含むおいしく安全な水の利用―といったメリットが多い。

同社では近い将来、世界的規模での水不足が到来する可能性を見据えて、最先端の膜ろ過技術に磨きをかけている。

この他、自動車部品などを製造する武州工業の林英夫社長、廃棄物処理・総合リサイクルのアースサポートの尾﨑俊也社長、切削・測定工具の卸・小売りの三共精機の石川武社長、運輸業・貨物自動車運送業であるエコトラックの池田治子社長が受賞した。各社の取り組みは環境対応で悩む事も多い多くの経営者に、参考になるだろう。

## 受賞者　喜びの声

### 環境文明21　共同代表　加藤　三郎氏

**講評**

NPOが経営者の「環境力」を顕彰するというのはある意味、大変せんえつなことであると企画段階では考えたが、幸い、経営者の皆さまから一定の支持を得て、また3年前からは日刊工業新聞社も主催に加わり、今回で6回目の大賞顕彰事業となった。

全国各地で「環境力」を発揮しているひときわユニークな6人の経営者を今回、顕彰できることは、私たちの喜びであり、光栄でもある。

今回の東京都知事選挙に見られるように、環境の悪化に対する市民の関心は今一つだ。しかし、世界各地での異常気象の頻発や生き物の絶滅危惧などが示すように、全ての生命と経済活動の基盤でもある地球環境は、極めて厳しい状況に陥りつつある。

それ故に、国も国際社会も環境対策を強化しようとしているので、企業活動に対してもある種の制約となる。しかし、その制約をむしろチャンスととらえる経営者も少なからずいる。すなわち、環境への取り組みを通して負荷を削減し、資源効率を高め、コスト削減や効率向上につなげることで、事業の持続性を高める経営力である「環境力」がもの言う時代になりつつある。

私は10年ほど前から「環境力」という言葉を使い始めたが、それは企業が環境を維持・改善しようと本気で尽力すると、経営力も合わせて高めてしまう力があることを「発見」したことによる。今回の受賞者らもそのことを雄弁に証明しているのがうれしい。

#### 事業の持続性高める機会に

### 日刊工業新聞社社長　井水　治博

**ごあいさつ**

2013年度経営者「環境力」大賞の受賞者の皆さまに心よりお祝いを申し上げます。また、本賞の趣旨にご理解を賜り、ご支援ご協力をいただいている関係各位に深く感謝いたします。

日刊工業新聞社は11年度から認定NPO法人・環境文明21と共同で本賞を主催しています。中堅・中小企業経営者による優れた取り組みを顕彰し広く紹介させていただき、産業界に環境問題を意識した経営を根付かせることに役立ちたいと願っております。

現在、わが国経済は大胆な金融緩和策の効果によってデフレ脱却へ進んでいます。モノづくり企業の投資も活発になり始め、実体経済の持ち直しが本格化してきました。日本の産業界は長く続いた停滞期を抜け出しつつあります。新たな成長へと踏み出そうとしているいまこそ、豊かな社会づくりと環境問題の解決を両立し、持続可能な発展を実現する「グリーン経済」への転換を経営者は強く意識しなければなりません。

わが国産業の強さの一つは、力のある中小企業が多く存在していることです。優れた中小企業の集積は重要な産業基盤となっています。中小企業経営者の「環境力」を向上することが、産業界全体のグリーン経済への移行を加速する原動力になるでしょう。

本賞を受賞された皆さまが各業界、各地域の経営者の範として、持続的な経済成長を先導していただけるものと期待しております。今後ますますのご活躍をお祈りします。

#### グリーン経済へ移行加速

### 大賞

はくばく会長

**長澤　利久氏**

#### 大麦製品の価値創造

このたびは図らずも経営者「環境力」大賞をいただき、感謝しております。今回突然に応募の案内をいただき、「環境力」の内容について理解が不十分のまま自己評価シートを提出しましたが、適切な回答であったがどうか不安でした。企業経営は経営環境への適応力が大事であり、適時に企業革新を図ることが必要と考えています。また規模の拡大ではなく、活力ある企業文化を創り、独自の強みを持った個性的な企業づくりを目指すことだと信じています。あわせて、地域社会から信頼される「存在感のある」企業であり、社会貢献に前向きな企業としてサッカーチーム、J1に所属する「ヴァンフォーレ甲府」のメーンスポンサーをしています。当社は〝麦・健康〟を掲げて、長い間大麦製品の価値創造・広報活動に努めてきましたが、念願が叶い、今ようやく需要が伸びてきて成果が表れ、喜んでおります。

### 大賞

ウェルシィ取締役
（前代表取締役社長）

**福田　章一氏**

#### 水を通じ世界に貢献

このたびは経営者の環境力を評価する名誉ある賞をいただき、誠にありがとうございます。

当社は社是に「地球環境向上」を掲げ、水を通じて世界平和の貢献に取り組む、地下水飲料化プラント「地下水膜ろ過システム」のパイオニア企業です。日本は水が豊富なため関心が薄いようですが、新興国では工業用水の需要増、生活水準の向上に伴う水使用量増などで、深刻な水不足の進行が懸念されています。2025年ごろには約40億人が水不足に直面するといわれています。そのような背景からウオーターフットプリント（水利用の足跡）の国際標準化機構（ISO）化の動きや、ウオーターフットプリントをもとに水削減の取り組みも始まっています。水問題は今後ますます重要性が高まるでしょう。当社は水問題の解決に向け、最先端の膜ろ過技術の有効利用に引き続き挑戦して行きます。


もしもの災害時、水の確保は大丈夫ですか？　ウェルシィ　検索

～ウェルシィの「地下水膜ろ過システム」でBCP対策～

【特徴】
「公共水道」と「地下水膜ろ過システム」で"水源を2元化"し、防災力の向上と事業継続性を高めます。

【全国1,000件の業界トップシェア実績】
病院・介護老人施設・スーパー・百貨店・学校・工場など、全国1,000件の導入実績を誇ります。

地球環境向上企業®
株式会社 ウェルシィ®
〒102-0083 東京都千代田区麹町4-8-1
麹町クリスタルシティ東館11階
TEL:03-3262-2431㈹　FAX:03-3262-2455　http://www.wellthy.co.jp/


## 経営者「環境力」大賞受賞者一覧

■ 2013年度

| 氏名 | 会社名 | 役職 |
|---|---|---|
| 池田 治子 | (株)エコトラック | 代表取締役 |
| 石川 武 | 三共精機(株) | 代表取締役社長 |
| 尾﨑 俊也 | アースサポート(株) | 代表取締役 |
| 長澤 利久 | (株)はくばく | 取締役会長 |
| 林 英夫 | 武州工業(株) | 代表取締役 |
| 福田 章一 | (株)ウェルシィ | 取締役 |

■ 2012年度

大　賞

| 氏名 | 会社名 | 役職 |
|---|---|---|
| 大川 哲郎 | (株)大川印刷 | 代表取締役社長 |
| 金坂 良一 | カネパッケージ(株) | 代表取締役 |
| 近藤 亮介 | 親和環境(株) | 代表取締役 |
| 谷 學 | グリーンブルー(株) | 代表取締役 |
| 野老 真理子 | 大里綜合管理(株) | 代表取締役社長 |
| 鳥波 益男 | 東海サーモエンジニアリング(株) | 代表取締役 |
| 山崎 保彦 | (株)北陽商会 | 代表取締役 |

奨励賞

| 氏名 | 会社名 | 役職 |
|---|---|---|
| 金子 正平 | カネコ工業(株) | 代表取締役 |
| 日野 榮 | (株)サンテック | 代表取締役 |

■ 2011年度

| 氏名 | 会社名 | 役職 |
|---|---|---|
| 畝本 典子 | 石坂産業(株) | 取締役社長 |
| 落合 寛司 | 西武信用金庫 | 理事長 |
| 川本 義勝 | (株)カンサイ | 取締役会長 |
| 戸部 昇 | (株)トベ商事 | 代表取締役 |
| 松岡 幸一 | (株)マツユキリサイクル | 代表取締役 |

■ 2010年度

| 氏名 | 会社名 | 役職 |
|---|---|---|
| 石井 邦夫 | (株)市川環境エンジニアリング | 代表取締役社長 |
| 田畑 日出男 | いであ(株) | 代表取締役会長兼社長 |
| 中島 賢一 | (株)リーテム | 取締役会長 |
| 平田 克明 | (有)平田観光農園 | 代表取締役会長 |
| 森 雅美 | (有)森ファームサービス | 代表取締役 |

■ 2009年度

| 氏名 | 会社名 | 役職 |
|---|---|---|
| 板橋 英隆 | NECキャピタルソリューション(株) | 代表取締役社長 |
| 薗田 綾子 | (株)クレアン | 代表取締役 |
| 田中 稔 | 田中建材(株) | 代表取締役 |
| 初谷 博 | (株)吉岡 | 専務取締役 |
| 森 建司 | 新江州(株)／循環型社会システム研究所 | 代表取締役会長／代表 |
| 山本 梁介 | (株)スーパーホテル | 会長 |

■ 2008年度

| 氏名 | 会社名 | 役職 |
|---|---|---|
| 麻生 義継 | (株)東亜電機工業社 | 代表取締役／Sky-group代表 |
| 小川 勲 | (株)オガワエコノス | 代表取締役社長 |
| 髙橋 房雄 | (株)髙特 | 代表取締役社長 |
| 田中 正敏 | 近畿環境興産(株) | 代表取締役社長 |
| 藤田 和芳 | (株)大地を守る会／NGO大地を守る会 | 代表取締役社長／会長 |
| 向山 邦史 | 向山塗料(株) | 取締役相談役 |
| 柳田 弘明 | 大和信用金庫 | 理事長 |

※五十音／敬称略